

経済 Topics

■ 大分県内の最新経済動向について

大分県内の経済は「弱含み」となっています。製造業は海外景気停滞の影響などから一部に弱さがみられ、個人消費は横ばい圏内で推移しています。観光業はインバウンド需要のけん引などにより、引き続き回復しています。

今回のテーマ

キャッシュレス決済の利用状況 に関する調査

■ はじめに

「キャッシュレス決済の利用状況に関する調査」は、大分県在住の20代から70代を対象に、決済手段ごとの使用頻度やキャッシュレス決済の利用理由などについて調査しました。

■ 最近のキャッシュレス決済の普及状況について

近年、キャッシュレス決済の普及は進んでいます。

経済産業省の調査によりますと、2023年のキャッシュレス決済比率は39.3%でした。この比率は年々上昇しており、2013年の15.3%と比較すると約25ポイントの上昇となっています。

新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年と比較した、キャッシュレス決済の使用頻度を尋ねたところ、約半数の人がキャッシュレス決済の使用頻度が高まったと回答しました。決済業者の新規参入が相次いでいることや、新型コロナウイルス感染症の対策としてキャッシュレス決済を活用する人が増加したことなどが、高まった要因だと考えられます。

■ どのような決済手段がよく使われているか？

キャッシュレス決済の使用頻度を種類別に尋ねたところ、クレジットカード決済が最も高く、「使用する」と答えた人は68.7%でした。2018年の前回調査と比較しますと、QRコード決済やスマホ決済の使用頻度が伸びていました。特にQRコード決済は大きく伸びており、「使用する」と答えた人が、前回調査では5.1%とごくわずかだったのに対して、今回の調査では56.9%と過半となりました。

■ 今後の動向について

キャッシュレス決済を今後利用したいか尋ねたところ、「利用したい」という前向きな回答が63%でした。前回調査と比較して、約10ポイント増加しており、今後もキャッシュレス決済を利用する人は増えると思われます。

また、どのような決済手段を利用したいか尋ねたところ、「QRコード決済」が38.1%と最も多く、「クレジットカード決済」が31.0%、「スマホ決済」が13.1%となりました。前回調査から伸びた「QRコード決済」や「スマホ決済」、現在最も多い「クレジットカード決済」が今後も主流となりそうです。

■「利用したい」と回答された人はどのような点にメリットを感じているのか？

キャッシュレスにしたいと思う理由を尋ねたところ、「ポイントや特典がつく」が73.4%と最も多く、次いで「決済に手間や時間がかからない」が61.5%、「サイフを持ち歩かなくて済む」が40.9%となりました。

また、現金決済したいと回答した人にその理由を尋ねたところ、「使いすぎる心配がない」が44.6%と最も多く、次いで「収支の管理がしやすい」が32.4%、「電子マネーへのチャージが面倒」が20.9%となりました。

■まとめ

今回の調査から、キャッシュレスの利用に前向きな人が増加していることが分かりました。種類別では、「クレジットカード決済」の使用頻度が最も高い点は前回調査と同様でしたが、「QRコード決済」の使用頻度が前回調査より大きく上昇しました。

今後も、小売店や飲食店などにおける人手不足やインバウンド需要への対応として導入する店舗は拡大すると考えられます。消費者にとっても、キャッシュレス決済を利用することでポイントを得られたり、会計がスムーズにできたりとさまざまなメリットがあるため、キャッシュレス決済比率は高まっていくとみられます。しかし、使い過ぎにつながりやすいといったデメリットや不正利用などの懸念もあるため、キャッシュレス決済を活用する際はメリットとデメリットを理解し、定期的にスマホアプリなどで利用状況を確認したり、パスワードの使い回しを控えたりするなど自身でできる対策を行うことが必要になります。

(提供：(株)大銀経済経営研究所)